

津波ハザードマップ

Tsunami Hazard Map of Shirako Town

白子町



わが家の防災メモ

わが家の避難所 合言葉は、何かあったら〇〇〇へ！

	避難所名	備考
指定避難所		
指定緊急避難場所		
津波緊急避難ビル		

家族・親族・知人の連絡先

氏名	電話番号	住所	備考

白子町役場

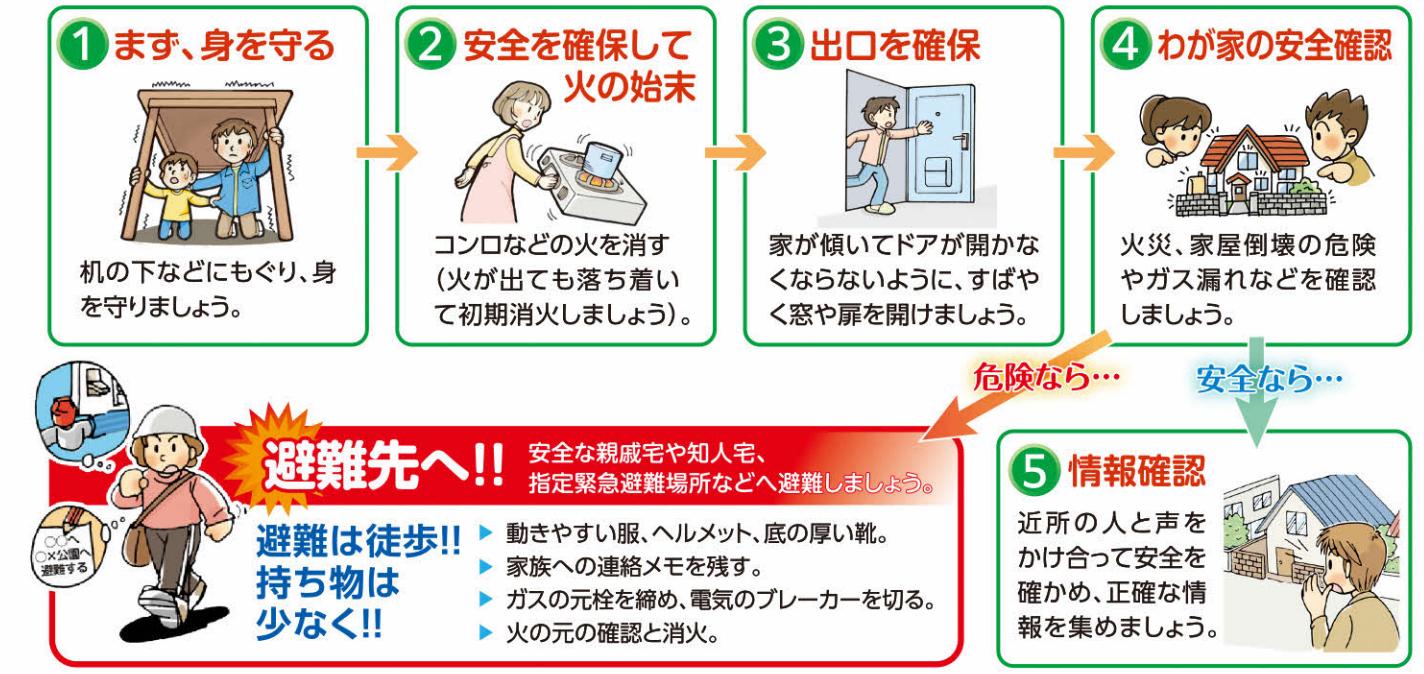
〒299-4292
千葉県長生郡白子町鶴5074-2
TEL:0475-33-2111(代表) FAX:0475-33-4132

発行:白子町役場 令和6年3月
制作:北海道地図株式会社

4 地震への対処と避難

▶地震が起きたら…

地震が起きたとき、とっさの判断は難しいものです。日ごろから、いざというときの行動を確認しましょう。



5 避難時の留意点

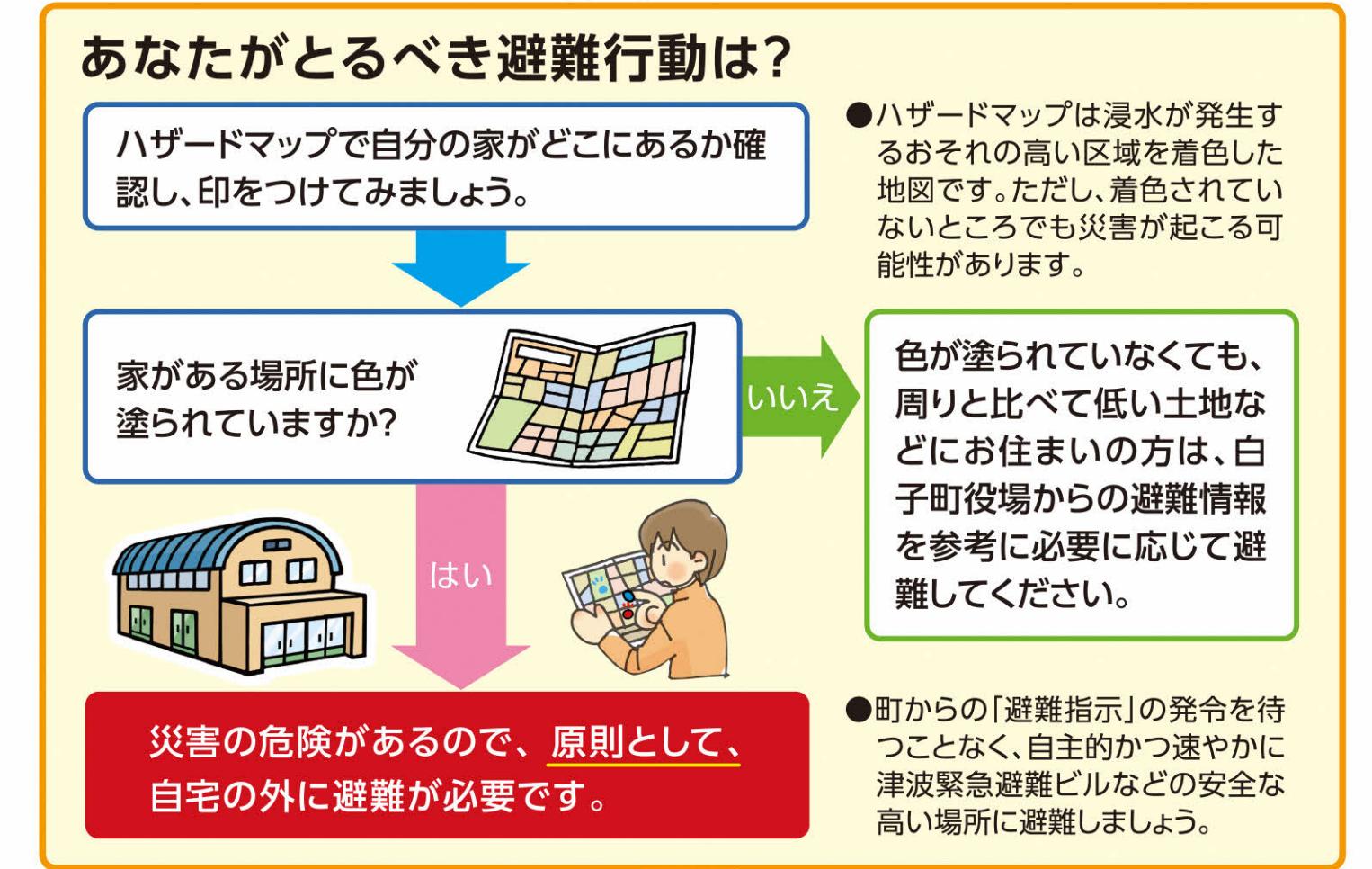
地震発生時は下記の項目に注意し、落ち着いて行動しましょう。余震にも慌てず対処しましょう。

ガスの元栓を閉める	ブレーカーを落とす	電線や電柱に近づかない
避難する前にガスの元栓を閉め 二次被害を防ぎましょう。	停電しているときでも必ずブレーカーを落としてから避難してください。	切れたり電線や損傷した電柱は、接触すると感電する恐れがあり危険です。
海岸から離れる	助け合って避難を	ペットと避難
海の中にいる人は、直ちに海から上がり、海岸から離れてください。 とにかく高い所へ避難しましょう。	子どもや高齢者、病気の人などは避難に時間がかかるので、早めに行動しましょう。	ペットと一緒に行動を共にすることが原則ですが、避難所ではペットと一緒に生活できる設備が整っておりません。安全な場所にある親戚・友人の家に避難することや、車中での避難を想定し、日々からキャリーバッグやケージを準備しておいてください。

1 ハザードマップの活用法

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、ハザードマップを活用して自宅の災害リスクとるべき行動を確認しましょう。

避難行動判定フロー ひざ取り組みましょう！



各項目を参考にして

平素から災害に備え安全を確保しましょう。

- 平素からの備え ➡ 2
- 地震への備え ➡ 3
- 地震への対処と避難 ➡ 4
- 避難時の留意点 ➡ 5

今後想定される大規模地震

想定される大規模地震	地震が発生する確率
首都直下地震	南関東域で30年内にマグニチュード7クラスの地震が発生する確率:70%
南海トラフ地震	30年内にマグニチュード8~9クラスの大規模地震が発生する確率:70%程度

2 平素からの備え

自宅の災害リスクに応じて物心両面の備えをしましょう。
避難の必要がない場合も、停電や断水に備えましょう。

自助・共助・公助の連携 災害による被害を最小化するには、自助・共助・公助の連携が必要です。



自助 「自分や家族で出来る防災活動」 自分/家族

3日以上の飲料水や食料・生活必需品の備蓄	非常用持ち出し袋の準備	家族会議を行う	風水害に備えて家の周りや建物を確認
できれば1週間分 普段の生活の中での準備!	貴重品や懐中電灯、非常食、救急用品など	家族内の役割分担、連絡方法(灾害用伝言ダイヤル117等)や避難場所(集合場所)の確認など	屋根のはがれや窓の補強、家の周りの排水溝などを確認

「家庭での備蓄品と非常持ち出し品チェック」を参照

共助 「隣近所や地域での防災活動」 地域/自主防災組織/自治会

地域の防災点検	自主防災組織の強化	避難行動支援者要員登録への配慮	避難所運営への協力
公園・広場等の位置や危険箇所などの確認	消防訓練への参加、連携、協力体制の確認	支援が必要な人の把握、支援体制づくり	物資等の配布、生活環境を良好に保つ協力できる体制

公助 「防災関係機関での防災活動」 行政など防災関係機関

- 防災関係機関の災害対策などを定めた地域防災計画の作成
- 避難場所の指定及び備蓄物資、資機材の整備
- 公共施設の耐震化
- 防災施設(防災行政無線、備蓄倉庫など)の整備
- 災害発生時の救助活動
- 電気、ガス、水道などのライフラインの応急対策
- 自助・共助の取組への支援
- 防災訓練の実施

3 地震への備え

早期に情報を収集して身の回りの準備を確かめ、災害に備えましょう。

普段からどう行動するか決めておきましょう

▶行政が指定した緊急避難場所への避難



▶安全なホテル・マンションへの避難



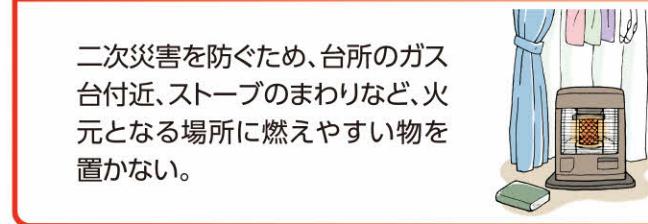
地震災害に備えましょう

地震は突然起こります。家族の安全と被害を最小限にいく止めるためにも、日頃からの安全対策等の準備が必要です。家族で防災について話し合い、災害から身を守りましょう。

▶わが家の耐震診断

家の間取りから、水まわり、ガスの位置、電気のブレーカー、家具の位置をチェックする。建物の耐震診断は専門家に相談し、補強等を実施する。

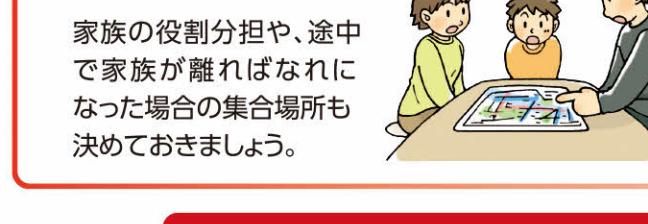
▶燃えやすいもの置かない



▶高い所に重い物を置かない

地震時の落下によるケガの原因になる、家具の上にテレビなど重い物を置かない。

▶家族で話し合い



▶地震の震度 (気象庁震度階級)

震度 1	震度 2	震度 3
屋内で静かにしている人の多くには、揺れを感じず、また、寝ている人の中には、揺れを感じない。	屋内で静かにしている人の多くには、揺れを感じず、また、寝ている人の中には、揺れを感じない。	屋内にいる人のほとんどが揺れを感じる。
震度 4	震度 5弱	震度 5強
歩いている人の多くが、揺れを感じ、また、寝ている人の多くが、揺れを感じます。	歩いている人の多くが、揺れを感じます。	歩いている人の多くが、揺れを感じます。
震度 6弱	震度 6強	震度 7
歩いている人が恐怖を感じ、また、寝ている人が恐怖を感じます。	歩いている人が恐怖を感じます。	歩いている人が恐怖を感じます。

いざという時に下記リストを参考に準備しましょう。
また、備蓄品の飲食は保存期限に注意しましょう。

避難時は両手が使えるリュックが便利!!

▶備蓄品 (最低3日の準備をしておきましょう。できれば、7日分の備蓄を心がけましょう。)

● 食料・飲料水 (1人1日3リットル)	□ 缶詰やレトルト食品
● 燃料など	□ 卓上コントロール
● 生活用品	□ ガスボンベ
● その他	□ トイレットペーパー
	□ 洗面用具
	□ 鍋
	□ やかん
	□ パケツ
	□ 携帯トイレ
	□ 使い捨てカイロ
	□ ピニールシート
	□ 新聞紙
	□ 卓上ライト (予備の乾電池含む)
	□ ガムテープ
	□ ロープ
	□ ポリタング

赤ちゃんや介護を必要とするお年寄りなどいる場合は、次のようなものも必要です。

▶赤ちゃんがいる場合

□ ミルク、ほ乳びん	□ 乳幼児用の薬
□ 離乳食、食器	□ 障害者手帳、介護保険証など
□ お尿拭き	□ 消毒剤
□ 帽子、防寒着	□ 紙おむつ
□ バスマストル	□ おんぶひひ
□ ガーゼハンカチ	□ 衣類(着替え)

▶介護を必要とするお年寄りがいる場合

▶女性用に準備

□ 生理用品	□ サニタリーショーツ
□ 水無しシャンプー	□ 持ち運びシャンプー
□ 下着	□ 除菌ジェル・スプレー
□ 除菌ジェル・スプレー	□ ハンドクリーマー
□ 防犯ブザー	□ ウェットティッシュ
□ ペット用	□ 歯磨き粉
□ ベビーブースル	□ ガムテープ
□ ポンチョ	□ ポンチョ

▶実践! ローリングストック法

◆ 食べた分はすぐに備える	◆ 買い足す

<tbl_r cells="2" ix="2"